

平成 22 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長  
 里 見 治  
 (コード番号 6460 東証第一部)  
 問 合 せ 先 グループ代表室長兼グループコミュニケーション室長  
 上 田 晃 一 郎  
 (電話番号 03-6215-9955)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 190,000	百万円 14,500	百万円 14,000	百万円 5,500	円 銭 21.83
今回発表予想 (B)	205,000	34,000	33,500	17,000	67.48
増減額 (B-A)	15,000	19,500	19,500	11,500	—
増減率 (%)	7.9%	134.5%	139.3%	209.1%	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	154,395	△318	△729	△6,323	△25.10

## 【修正の理由】

遊技機事業において、当期主力のパチンコ遊技機の仕様変更に伴う販売スケジュールの見直し等を受け、パチンコ遊技機の第 2 四半期累計期間における販売台数は約 20 万台 (前回発表予想 23 万台) となる見込みです。一方、パチスロ遊技機の稼動が回復傾向にある中、当社グループ製品の販売が好調に推移し、第 2 四半期累計期間におけるパチスロ遊技機の販売台数は約 18 万台 (前回発表予想 10 万台) となる見込みです。また、コンシューマ事業において、海外市場における新作タイトルの販売が軟調に推移したことから、第 2 四半期累計期間におけるゲームソフトの販売本数は約 500 万本 (前回発表予想 632 万本) を見込みます。アミューズメント機器事業とアミューズメント施設事業は、概ね計画どおりの進捗となっています。以上の結果、当第 2 四半期累計期間における連結売上高は前回公表予想値を 150 億円上回る 2,050 億円となる見込みです。

営業利益、経常利益、当期純利益は主に遊技機事業における利益率の改善により、前回発表予想値を大幅に上回る見込みです。遊技機事業においては、パチンコ遊技機と比較して利益率の高いパチスロ遊技機の販売台数が想定を上回り推移したこと、部材のリユースや部材調達コスト削減により原価を低減したこと、価格戦略を見直したこと等によって利益率の改善が進みました。以上の結果、営業利益は前回発表値と比較して 195 億円の増加となる 340 億円、経常利益は前回発表値と比較して 195 億円の増加となる 335 億円、当期純利益は前回発表値と比較して 115 億円の増加となる 170 億円となる見込みです。

なお、平成 23 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、第 2 四半期累計期間における業績進捗を受けて見直す予定です。第 3 四半期以降に販売を計画する製品のラインナップや販売スケジュール等を検証し、新たな通期連結業績予想値を策定後、速やかに公表いたします。

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上